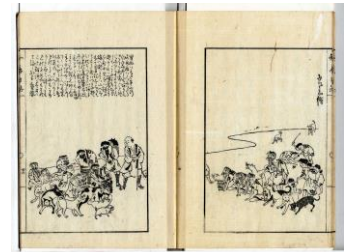


1. 基盤的な取組

- 入館管理方式の改善（簡単、快適な観覧を実現）
 - ・業界別ガイドラインの緩和を踏まえ、9月23日から入館者数制限を撤廃
 - ・特別展示観覧券が事前にオンラインで購入可能に

2. 理解を深め、魅力を発信する取組

- 博物館の展示活動の強化（わかりやすい展示、楽しめる展示の実現）
 - ・アイヌに関する歴史認識を深めて頂くよう、松浦武四郎「知床日誌」（松前藩統治下でのアイヌの訴えや状況等も描写）を展示
 - ※来館者やアイヌ関係者へアンケートを実施しつつ改善
 - ・子どもたちが楽しめるアイヌ絵本の世界観を紹介する展示会、最新の映像や音声技術を活用してアイヌ文化を没入型で体感できる展示会など、魅力的な特別展・テーマ展を検討
- 広報・発信活動の強化
 - ・特別展・テーマ展の取組等を積極的に旅行会社へ発信し、旅行会社によるツアー造成（団体観光客、家族客、学校教育関係者等）を実現



松浦武四郎「知床日誌」



Imagine ainu (R2文化庁事業)

3. 関係諸機関との連携強化

- アイヌ関連の博物館との相互連携（周遊の促進等）
 - ・関係博物館相互の資料借用による展示（第5回特別展示「イコロ ウエカリレ」アイヌ民具に焦点）
 - ・国立アイヌ民族博物館が軸となって関連博物館の研修を主催、ノウハウ共有
 - ・アイヌ資料を所蔵する国外の博物館と連携し海外展の開催を検討（ドイツ/ラウテンシュトラウフ・ヨースト博物館など）



九州国立博物館蔵
秦檣丸「蝦夷島奇観」
（第5回特別展示）



ラウテンシュトラウフ
・ヨースト博物館蔵「ホホチリ」